



# 南小だより

E-mail kogenminami@ac.city.myoko.niigata.jp

## 〈教育目標〉

進んで学ぶ子

思いやりのある子

最後までやりぬく子

〒949-2112 妙高市関川1592

TEL: 0255-86-2104

FAX: 0255-86-3212

## ちょっとしたひとこと

校長 渡辺 伸一

いつものように朝のあいさつをしようと校門付近に立って児童の登校を待っていました。登校してきた児童と「おはようございます」と互いにあいさつをかわすと「校長先生、昼休みに卓球しませんか？」と声をかけられました。私は誘われたことで明るい気分になりました。ちょっとしたひとことがうれしいのです。

喜んで昼休みに体育館に行くと、別の児童から「校長先生、バスケしませんか？」と声をかけられました。またまたなんとなくうれしくなって、張り切ってしまう。ボールを追いかけて汗をかくことができることに感謝です。

体育館ではどの遊びにも相手があります。相手の動きを見ながら自分の動きを自分で決めるのです。パスをしたりショットを打ったり走ったりは、決まった動きを強いられるものではないのです。遊びが習慣になると少しずつ動きがよくなります。そうすると休み時間が待ち遠しくなります。最初は下手でもいいのです。多少のミスは互いに許し合うことも大切です。ルールの中で安心してプレーでき、誰からも責められないのが楽しむポイントです。

休み時間の遊びですから勝ち負けよりも楽しさの方が優先です。楽しくなければやらなくてもいいのです。そこに勝ち負けをもってくると楽しさが減る気がします。また、自分勝手なプレーが横行してくると、遊びの楽しさは半減します。許し合う心にも限界があるのです。そんな時は、そっと身を引き、遊びの輪から離れます。遊びですからいやならやめればいいのです。別の過ごし方を探すチャンスと捉えることもできます。

10月は県教委が進めている『いじめ見逃しゼロ強調月間』であり、妙高市が進めている『“妙高市民の心”強化月間』です。学校はもちろん、家庭や地域での様々な取組が予定されています。私たち大人は、いろいろな取組を通じて子どもたちとかかわり、見守ることで子どもたちの心を豊かにはぐくむようにしたいものです。

今日も妙高高原南小学校の子どもたちは、かかわることを通じて少しずつ成長しています。

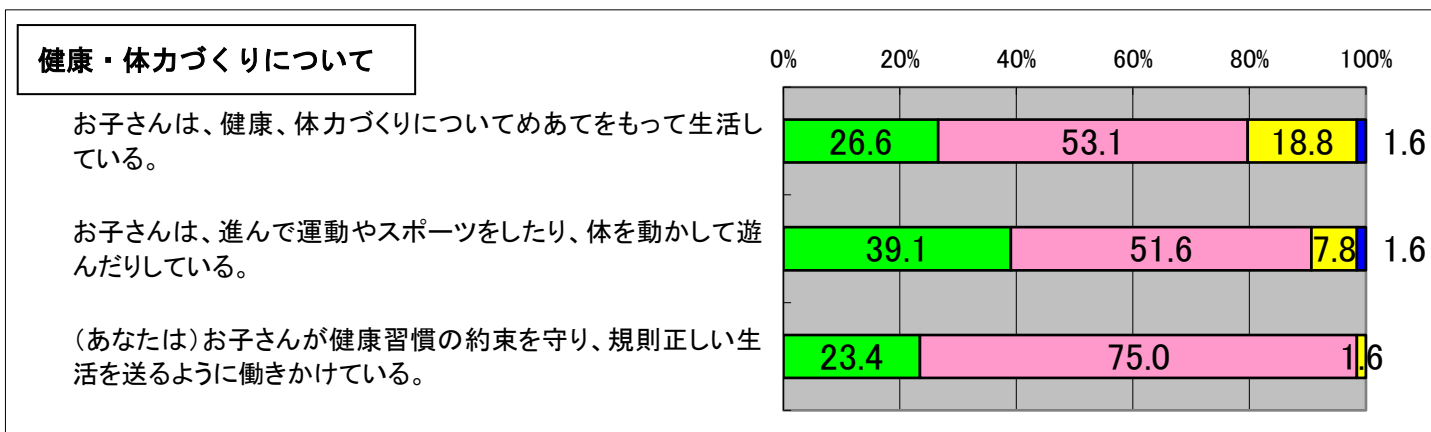
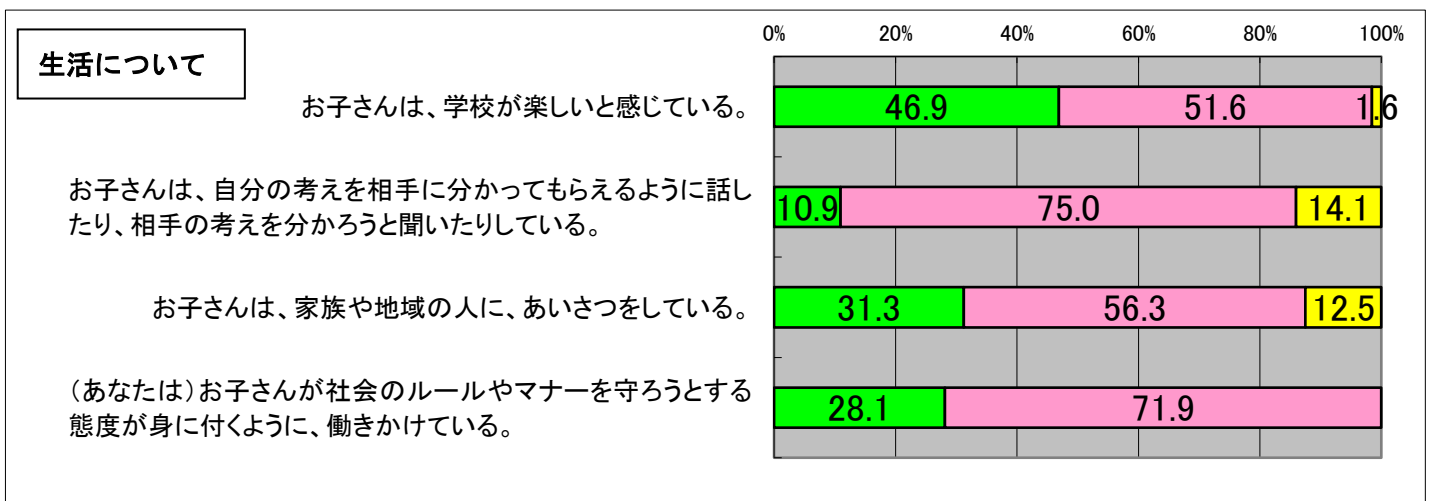
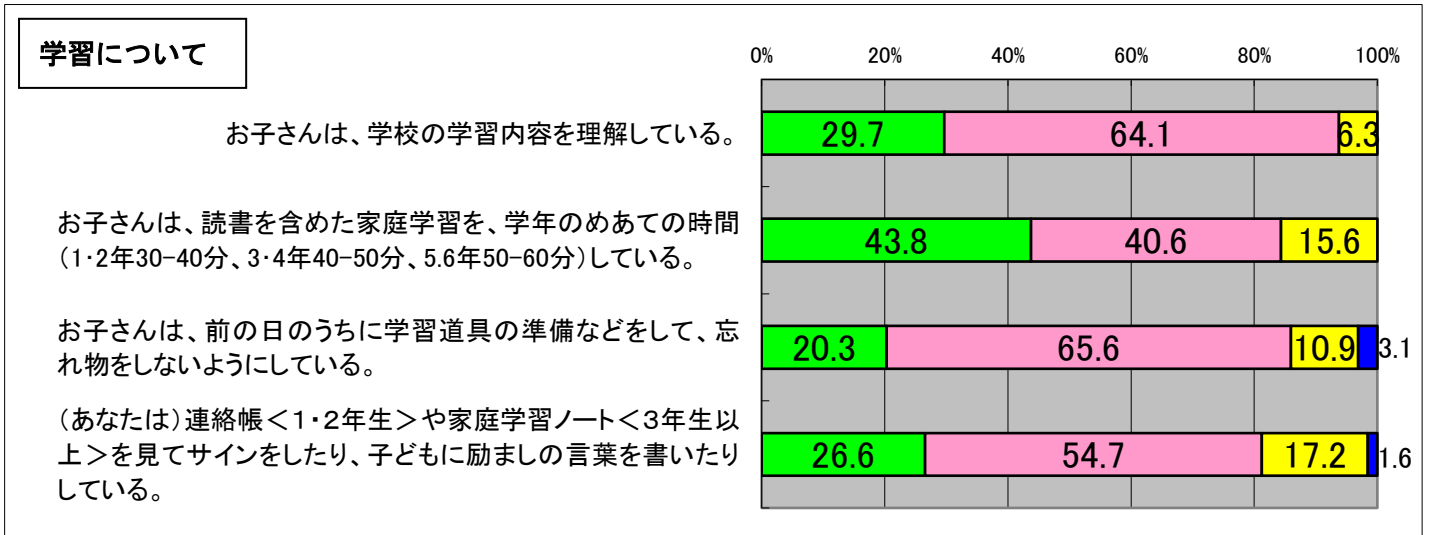


## 「学校評価アンケート（1学期）」集計結果について

保護者の皆様による学校評価の結果は、次のとおりです。

■ とてもそう思う   
 ■ そう思う   
 ■ あまりそう思わない   
 ■ そう思わない

「とてもそう思う」「そう思う」を肯定的評価、「あまりそう思わない」「そう思わない」を否定的評価とまとめました。



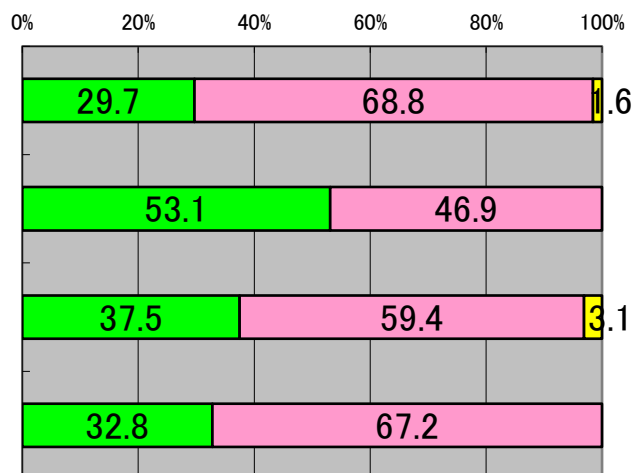
## 学校全般について

学校は、子どもの実態や保護者・地域の願いに応じた教育を進めている。

学校の考え方や取組を。PTAや学習参観、学校だより・学年だより、ホームページ、連絡帳等で、知ることができる。

学校は、子どもの学習や生活等について、気軽に相談できる雰囲気である。

学校は、交通安全や不審者対応等、子どもへの安全指導を適切に行っている。



### <アンケート結果を受けて>

おおむね肯定的な評価をいただきました。保護者の皆様のご理解・ご協力に感謝しております。今後、特に次の3点で協力して取り組んでいきたいと考えています

- ・「家庭での学習習慣がまだ十分に身に付いていない」との回答が15.6%ありました。学校では家庭学習の計画を立てさせ、家庭学習での頑張りをみとるとともに、積み重ねることの大切さを実感できるよう指導していきます。ご家庭でのみとりをお願いします。
- ・あいさつも含めたコミュニケーション力に関する項目について、12～15%が十分とはいえないという回答でした。言葉遣いは思いやりの心をはぐくむことが向上の一步と考えています。学校では、様々な場で交流活動を取り入れたり、あいさつ運動を行ったりしていきます。ご家庭でも毎日のあいさつを行うなどしていただければ幸いです。
- ・「健康・体力づくりについてめあてをもった生活」ができていくという回答が、約80%でした。毎日の生活の中では健康であることが当たり前になってしまっているのかもしれませんが。学校では機会を捉えて子ども一人一人がめあてを立てた健康・体力づくりを進めています。ご家庭では声かけや励まし等の働きかけをお願いします。

自由記述では、次のような要望や改善策をいただきました。

- ・ミニバスケット大会後も何か課外活動を行ってほしい。  
→学校では、次のように休む間もなく年間計画を立てて進めています。  
4～5月バスケットボール、6～9月陸上と音楽、10月特設陸上と音楽、11月音楽とスキー、12～2月スキー  
この他に習いごとをしている児童もいます。忙しい日々を過ごしていると感じています。子どもの興味関心や活動の幅を広げるためにもゆとりがあるといいと考えます。家庭で過ごす時間が減少すると、学習習慣の定着や自由な時間の過ごし方、家庭団欒の時間にも影響が出てくると考えています。
- ・ノートなどを購入できるシステムを  
→近隣にノートを購入できるお店がなく、ご苦労されていることと思います。子どもたちには、ノートが終わりそうな場合には、早めに家の人に伝えるように、指導していきます。保護者の皆様も、どんな学習をしているのか、時々子どものノートを見ながら使用状況を確認していただけると助かります。

今後も保護の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

# マラソン大会を終えた児童の感想より

## 1年生

ぼくは、たいいくやみなみっ子タイムで、いっしょうけんめいれんしゅうしました。

ほんばんでは、きんちょうしたけど、がんばってはしたら、まえはおいつけなかった人においつけて、9いになりました。

## 2年生

合同マラソン大会では、自分のベストが出るようにがんばりました。走っているときはくるしかつたけれど、入しようするぞとおもいました。自己ベスト記録を出せたけど、入しようできなかったの、くやしかったです。

## 3年生

わたしの目ひょうは入しようすることでした。そのために毎日練習しました。

本番では、5位でした。もうちょっとで前の人をこせたのにこせなくてくやしかったです。

来年はもっと練習して1位をとりたいです。

## 4年生

わたしは、マラソン大会で大会新記録を出してゆう勝できるようにがんばってきました。

大会では、だれにもぬかれずに大会新記録を出せてうれしかったです。

来年もがんばります。

## 5年生

ぼくがマラソン大会で一番がんばったことは、速い人についていくことです。自分より速く走れる人がたくさんいて、一緒に走ることができて楽しかったです。今年は、6位で入賞できたので、来年もがんばります。

## 6年生

今年のマラソン大会では優勝できました。でも自分の力を出しきれたとは思いませんでした。自己ベストが出せなかったからです。

この悔しさをバネに、今後の陸上大会やクロカンスキー大会に生かしたいです。



# 全国学力学習状況調査より

4月に6年生が行った調査の結果をお知らせします。

国語A：基礎的な力（知識や理解）の問題は県や全国の平均より上回っています。

B：活用する力の問題は県や全国の平均より上回っています。

算数A：基礎的な力（知識や理解）の問題は県や全国の平均より上回っています。

B：活用する力の問題は県や全国の平均より大きく上回っています。

特に算数Bはよくできていました。引き続き授業改善に努めます。